

第 2 期保健事業実施計画(データヘルス計画)
中間評価

令和 3 年 3 月 渡嘉敷村

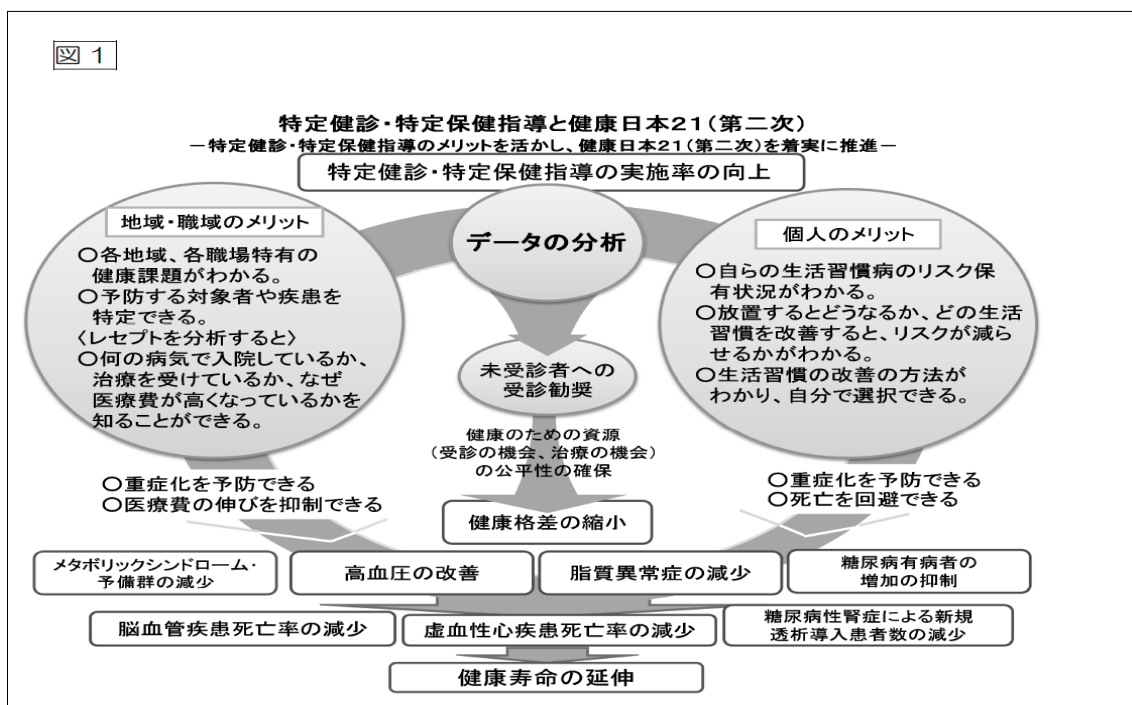
第 2 期保健事業実施計画(データヘルス計画)中間評価

第 1 章	データヘルス計画の概要	1
第 2 章	中間評価の趣旨	2
1.	第 1 期データヘルス計画に係る評価及び考察	
2.	第 2 期データヘルス計画における健康課題の明確化	
3.	目標の設定	
第 3 章	中間評価の結果	4
1.	中長期目標、短期目標（アウトカム、アウトプット）の進捗状況	
（1）	医療費の状況	
（2）	短期目標の評価	
第 4 章	特定健診及び特定保健指導の中間評価と課題	11
1.	目標値に対する進捗状況	
第 5 章	中間評価、新たな課題を踏まえた目標値の見直し	12
1.	第 2 期データヘルス計画中間評価後の課題	
2.	がん検診の進捗状況	
3.	歯科検診（歯周疾患検診）の実施	

第1章 データヘルス計画の概要

厚労省においては、保健事業の実施等に関する指針（厚生労働省告示）（以下「国の指針」という。）の一部を改正する等により、保険者等は健康・医療情報を活用して PDCA サイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）（以下「計画」という。）を策定したうえで、保健事業の実施・評価・改善等を行うものとしております。

本村においては、国の指針に基づき、生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進により、医療費の適正化及び本村国保の財政基盤強化を図ることを目的として「第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）」を平成30年3月に策定しました。計画期間は平成30年度から令和5年までの6年間です。



標準的な健診・保健指導プログラム「30年度版」より抜粋

第2章 中間評価の趣旨

1. 中間評価の趣旨

第2期データヘルス計画では、毎年度の進捗状況を確認するとともに、本計画の最終年度において総合的に評価します。計画の最終年度（令和5年度）において次期計画の策定を円滑に行うため上半期に限り、中間評価を行います。

2. 中間評価の方法

中間評価の方法としてはストラクチャー、プロセス、アウトプット、アウトカムの視点で中長期目標及び短期目標の成果、それを達成するための保健事業、特定健診・特定保健指導の評価と課題として行いました。また、評価後の課題や新たな情勢を踏まえて令和3年度以降の目標等の見直しを行っています。

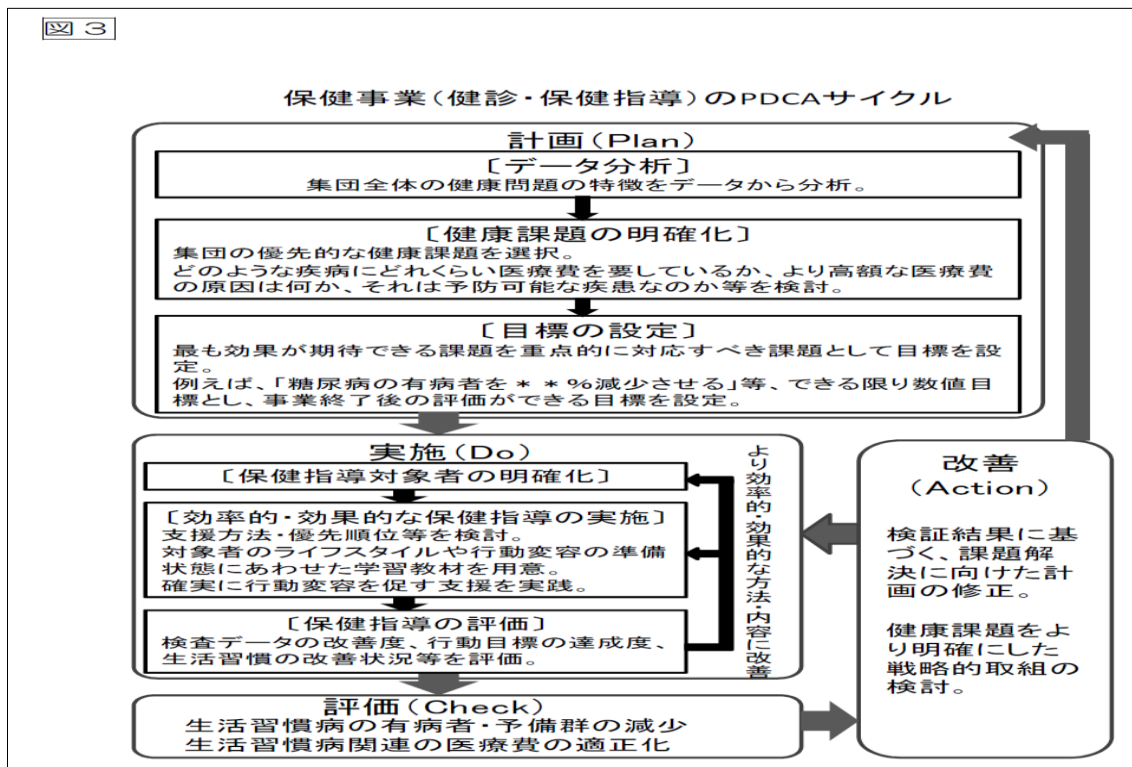
3. 評価方法・体制

保険者は、健診・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図ることが求められており、保険者努力支援制度においても4つの指標での評価が求められています。

※評価における4つの指標

ストラクチャー (保健事業実施のための体制・システムを整えているか)	・事業の運営状況を定期的に管理できる体制を整備しているか。(予算等も含む) ・保健指導実施のための専門職の配置 ・KDB活用環境の確保
プロセス (保健事業の実施過程)	・保健指導等の手順・教材はそろっているか ・必要なデータは入手できているか。 ・スケジュールどおり行われているか。
アウトプット (保健事業の実施量)	・特定健診受診率、特定保健指導率 ・計画した保健事業を実施したか。 ・保健指導実施数、受診勧奨実施数など
アウトカム (成果)	・設定した目標に達することができたか (検査データの変化、医療費の変化、糖尿病等生活習慣病の有病者の変化、要介護率など)

図 3



標準的な健診・保健指導プログラム「30年度版」より抜粋

第3章 中間評価の結果

1 中長期目標、短期目標（アウトカム、アウトプット）の進捗状況

データヘルス計画の目標管理一覧表

関連計画	健康課題	達成すべき目的	課題を解決するための目標	初期値		中間評価値				最終評価値		現状値の把握方法	
				H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5		
特定健診計画		医療費削減のために、特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により、重症化予防対象者を減らす	特定健診受診率60%以上	49.6%	51.2%	56.7%	59.4%					特定健診・特定保健指導結果(厚生労働省)	
			特定保健指導実施率60%以上	66.7%	66.7%	66.7%	88.9%						
			特定保健指導対象者の減少率25%	6人	9人	9人	9人						
データヘルス計画	中長期目標 ・特定健診受診率が低い ・メタボ該当者の割合が24.6%で県内、同規模と比較して高い ・高血糖・高血圧・脂質異常症3項目重複している割合が県内、同規模と比較して高い	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制する	脳血管疾患の総医療費に占める割合減少	4.6%			5.5%					KDBシステム	
			虚血性心疾患の総医療費に占める割合減少	2.2%			1.5%						
			糖尿病性腎症による透析導入者の割合の減少〇%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
		脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす	メタボリックシンドローム・予備群の割合減少25%	37.1%	40.9%	38.0%	40.5%						民生課
			健診受診者の高血圧の割合減少(160/100以上)	3.2%	1.4%	5.2%	2.3%						
			健診受診者の脂質異常者の割合減少(LDL160以上)	12.9%	8.6%	7.8%	9.2%						
			健診受診者の糖尿病有病者の割合減少(HbA1c6.5以上)	8.1%	11.4%	9.1%	10.3%						
			糖尿病の未治療者を治療に結び付ける割合80%	対象0	60.0%	100.0%	30.0%						
			糖尿病の保健指導を実施した割合60%以上	62.5%	70.0%	86.7%	76.2%						
短期目標	がん検診の受診率が低い	がんの早期発見、早期治療	がん検診受診率 胃がん検診 30%以上	5.8%	9.1%	11.9%	9.1%					地域保健事業報告	
			肺がん検診 30%以上	22.3%	33.6%	33.9%	35.0%						
			大腸がん検診 30%以上	15.5%	17.1%	17.1%	24.8%						
			子宮頸がん検診 30%以上	14.6%	20.9%	24.2%	29.5%						
			乳がん検診 30%以上	19.9%	25.0%	24.8%	29.6%						
	・数量シェアH28年度83.1%	後発医薬品の使用により、医療費の削減	後発医薬品の使用割合80%以上	83.1%		86.1%	88.8%					厚生労働省公表結果	

※R2にR1のデータで中間評価を行う。

(1) 医療費の状況

データヘルス計画のターゲットとなる疾患が医療費に占める割合

【出典】

KDBシステム：健診・医療介護データから見る地域の健康課題

市町村名		総医療費	一人あたり医療費			中長期目標疾患				短期目標疾患			(中長期・短期) 目標疾患医療費計		新生物	精神 疾患	筋・ 骨疾患
			金額	順位		腎		脳	心	糖尿病	高血圧	脂質 異常症					
				同規模	県内	慢性腎不全 (透析有)	慢性腎不全 (透析無)	脳梗塞 脳出血	狭心症 心筋梗塞								
渡嘉敷村	H28	68,348,160	24,246	176位	13位	0.00%	0.00%	4.71%	1.09%	2.42%	3.07%	1.28%	8,587,030	12.56%	5.44%	23.65%	6.52%
渡嘉敷村	R1	63,331,110	20,683	245位	38位	0.00%	0.14%	5.46%	1.53%	4.70%	2.70%	2.10%	10,532,650	16.63%	14.08%	17.51%	12.50%
同規模平均	R1	69,729,842,420	29,091	--	--	3.55%	0.41%	2.20%	1.61%	5.91%	3.94%	2.32%	13,901,691,680	19.94%	16.31%	8.50%	9.49%
県	R1	121,720,589,390	24,808	--	--	6.43%	0.31%	2.33%	1.73%	3.94%	2.58%	1.63%	23,062,990,300	18.95%	11.29%	11.39%	7.76%
国	R1	9,546,054,012,590	26,225	--	--	4.45%	0.31%	2.11%	1.69%	5.41%	3.52%	2.58%	1,915,570,779,320	20.07%	15.99%	7.98%	8.79%

最大医療資源傷病(調剤含む)による分類結果

◆「最大医療資源傷病名」とは、レセプトに記載された傷病名のうち最も費用を要した傷病名

中長期及び短期目標疾患が医療費に占める割合を H28 年度と比較すると、短期目標の糖尿病の割合が増加し、慢性腎不全（透析なし）の割合が上昇している。また、脂質異常症の割合が増加し、脳梗塞・脳出血、狭心症・心筋梗塞の割合が増加している。総医療費は減少しているが、中長期・短期目標疾患の医療費総計は増加している。今後も、短期目標疾患の治療継続等の生活習慣病重症化予防をし、中長期目標疾患割合の目標達成に向け取り組んでいく。

(2) 短期目標の評価

○メタボリックシンドローム・予備群の状況

		H28年度		令和元年度		同規模平均		県		国	
		実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
				730		733,541		1,417,652		125,640,987	
メタボ	該当者	14	24.6%	25	31.6	14,216	20.8	22,162	24.7	1,350,831	19.2
	男性	9	27.3%	19	38.0	9,848	30.3	15,222	35.7	922,947	30.7
	女性	5	20.8%	6	20.7	4,368	12.2	6,940	14.8	427,884	10.6
	予備群	7	12.3%	7	8.9	8,401	12.3	13,370	14.9	777,605	11.1
	男性	6	18.2%	6	12.0	5,927	18.2	8,957	21.0	531,619	17.7
	女性	1	4.2%	1	3.4	2,474	6.9	4,413	9.4	245,986	6.1

メタボリックシンドローム予備軍の割合は平成 28 年度と比較し減少しているが、該当者においては増加している。特に男性の増加の割合が大きい。心、腎、脳の発症リスクを高めないために、内臓脂肪の蓄積を解消するための保健指導を徹底していく。

○生活習慣病コントロール不良者（高血糖・高血圧・脂質異常症）の割合

短期目標	年度	H28	H29	H30	R1
	受診者数	62	70	77	87
糖尿病	人数	5	8	7	9
HbA1c6.5以上	割合	8.1%	11.4%	9.1%	10.3%
高血圧	人数	2	1	4	2
Ⅱ度(160/100)以上	割合	3.2%	1.4%	5.2%	2.3%
LDL	人数	8	6	6	8
180以上	割合	12.9%	8.6%	7.8%	9.2%

○HbA1c の p 状況

アウトカム(結果)評価 糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群の25%減少を目指して
重症化しやすいHbA1c6.5以上の方の減少は

年度	HbA1c 測定	5.5以下	5.6～5.9	6.0～6.4	6.5以上			再掲		
					再)7.0以上	未治療	治療			
H26	67	36 53.7%	18 26.9%	6 9.0%	7 10.4%	4 57.1%	3 42.9%	1 1.5%	0 0.0%	1 100.0%
H27	66	41 62.1%	15 22.7%	5 7.6%	5 7.6%	1 20.0%	4 80.0%	4 6.1%	1 25.0%	3 75.0%
H28	62	37 59.7%	16 25.8%	4 6.5%	5 8.1%	0 0.0%	5 100.0%	4 6.5%	0 0.0%	4 100.0%
H29	69	38 55.1%	18 26.1%	5 7.2%	8 11.6%	3 37.5%	5 62.5%	5 7.2%	2 40.0%	3 60.0%
H30	60	34 56.7%	13 21.7%	8 13.3%	5 8.3%	1 20.0%	4 80.0%	2 3.3%	0 0.0%	2 100.0%
R1	85	48 56.5%	21 24.7%	7 8.2%	9 10.6%	3 33.3%	6 66.7%	3 3.5%	0 0.0%	3 100.0%

治療と未治療の状況

HbA1c測定				正常				保健指導判定値				受診勧奨判定値						再掲			
								正常高値		糖尿病の可能性が否定できない		糖尿病									
				合併症予防のための目標		最低限達成が望ましい目標						合併症の危険が更に大きくなる									
				5.5以下		5.6～5.9		6.0～6.4		6.5～6.9		7.0～7.9		8.0以上		7.4以上		8.4以上			
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
A				B	B/A	C	C/A	D	D/A	E	E/A	F	F/A	G	G/A	H	H/A	I	I/A		
治療中	H26	4	6.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	2	50.0%	0	0.0%	1	25.0%	1	25.0%	1	25.0%		
	H27	6	9.1%	0	0.0%	1	16.7%	1	16.7%	1	16.7%	2	33.3%	1	16.7%	1	16.7%	1	16.7%		
	H28	6	9.7%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	1	16.7%	2	33.3%	2	33.3%	2	33.3%	1	16.7%		
	H29	7	10.1%	0	0.0%	2	28.6%	0	0.0%	2	28.6%	3	42.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
	H30	7	11.7%	0	0.0%	2	28.6%	1	14.3%	2	28.6%	0	0.0%	2	28.6%	2	28.6%	2	28.6%		
	R1	12	14.1%	2	16.7%	0	0.0%	4	33.3%	3	25.0%	3	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
治療なし	H26	63	94.0%	36	57.1%	18	28.6%	5	7.9%	4	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
	H27	60	90.9%	41	68.3%	14	23.3%	4	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	1	1.7%	0	0.0%		
	H28	56	90.3%	37	66.1%	15	26.8%	4	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
	H29	62	89.9%	38	61.3%	16	25.8%	5	8.1%	1	1.6%	0	0.0%	2	3.2%	2	3.2%	2	3.2%		
	H30	53	88.3%	34	64.2%	11	20.8%	7	13.2%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
	R1	73	85.9%	46	63.0%	21	28.8%	3	4.1%	3	4.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		

○高血圧の状況

アウトカム(結果)評価 糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群の25%減少を目指して

重症化しやすいⅡ度高血圧以上の方の減少は

年度	健診 受診者	正常 正常高値	高値	Ⅰ度 高血圧	Ⅱ度高血圧以上												
					再掲												
					再)Ⅲ度高血圧	未治療	治療										
H26	67	32 47.8%	16 23.9%	13 19.4%	6 9.0%	6 100.0%	0 0.0%										
					1 1.5%	1 100.0%	0 0.0%										
H27	66	37 56.1%	16 24.2%	12 18.2%	1 1.5%	0 0.0%	1 100.0%										
					0 0.0%	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!										
H28	62	28 45.2%	15 24.2%	17 27.4%	2 3.2%	2 100.0%	0 0.0%										
					0 0.0%	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!										
H29	69	38 55.1%	16 23.2%	14 20.3%	1 1.4%	1 100.0%	0 0.0%										
					0 0.0%	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!										
H30	60	28 46.7%	22 36.7%	8 13.3%	2 3.3%	1 50.0%	1 50.0%										
					1 1.7%	1 100.0%	0 0.0%										
R1	85	41 48.2%	24 28.2%	19 22.4%	1 1.2%	0 0.0%	1 100.0%										
					0 0.0%	0 #DIV/0!	0 #DIV/0!										

治療と未治療の状況

		血圧測定者		正常				保健指導		受診勧奨判定値					
				正常		正常高値		高値血圧		Ⅰ度		Ⅱ度		Ⅲ度	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
		A		B	B/A	C	C/A	C	C/A	D	D/A	E	E/A	F	F/A
治療中	H26	28	41.8%	6	21.4%	9	32.1%	6	21.4%	7	25.0%	0	0.0%	0	0.0%
	H27	28	42.4%	7	25.0%	10	35.7%	6	21.4%	4	14.3%	1	3.6%	0	0.0%
	H28	26	41.9%	7	26.9%	5	19.2%	7	26.9%	7	26.9%	0	0.0%	0	0.0%
	H29	27	39.1%	8	29.6%	4	14.8%	7	25.9%	8	29.6%	0	0.0%	0	0.0%
	H30	22	36.7%	3	13.6%	6	27.3%	10	45.5%	2	9.1%	1	4.5%	0	0.0%
	R1	36	42.4%	9	25.0%	6	16.7%	11	30.6%	9	25.0%	1	2.8%	0	0.0%
治療なし	H26	39	58.2%	12	30.8%	5	12.8%	10	25.6%	6	15.4%	5	12.8%	1	2.6%
	H27	38	57.6%	13	34.2%	7	18.4%	10	26.3%	8	21.1%	0	0.0%	0	0.0%
	H28	36	58.1%	11	30.6%	5	13.9%	8	22.2%	10	27.8%	2	5.6%	0	0.0%
	H29	42	60.9%	16	38.1%	10	23.8%	9	21.4%	6	14.3%	1	2.4%	0	0.0%
	H30	38	63.3%	14	36.8%	5	13.2%	12	31.6%	6	15.8%	0	0.0%	1	2.6%
	R1	49	57.6%	17	34.7%	9	18.4%	13	26.5%	10	20.4%	0	0.0%	0	0.0%

LDL コレステロールの状況

アウトカム(結果)評価 糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群の25%減少を目指して
重症化しやすいLDL160以上の方の減少は

年度	健診 受診者	120未満	120～139	140～159	160以上														
					再1180以上		再掲												
					再1180以上	未治療	治療												
H26	67	38 56.7%	13 19.4%	10 14.9%	6	5	1												
					9.0%	83.3%	16.7%												
					3	3	0												
H27	66	36 54.5%	16 24.2%	10 15.2%	4	3	1												
					6.1%	75.0%	25.0%												
					1	1	0												
H28	62	28 45.2%	19 30.6%	7 11.3%	8	8	0												
					12.9%	100.0%	0.0%												
					3	3	0												
H29	69	43 62.3%	12 17.4%	8 11.6%	6	5	1												
					8.7%	83.3%	16.7%												
					3	2	1												
H30	60	34 56.7%	11 18.3%	10 16.7%	5	4	1												
					8.3%	80.0%	20.0%												
					1	1	0												
R1	85	48 56.5%	16 18.8%	13 15.3%	8	6	2												
					9.4%	75.0%	25.0%												
					2	1	1												

治療と未治療の状況

		LDL測定者		正常		保健指導判定値		受診勧奨判定値					
				120未満		120～139		140～159		160～179		180以上	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
		A		B	B/A	C	C/A	D	D/A	E	E/A	F	F/A
治療中	H26	13	19.4%	7	53.8%	4	30.8%	1	7.7%	1	7.7%	0	0.0%
	H27	16	24.2%	11	68.8%	4	25.0%	0	0.0%	1	6.3%	0	0.0%
	H28	13	21.0%	10	76.9%	2	15.4%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%
	H29	11	15.9%	7	63.6%	2	18.2%	1	9.1%	0	0.0%	1	9.1%
	H30	12	20.0%	7	58.3%	3	25.0%	1	8.3%	1	8.3%	0	0.0%
	R1	18	21.2%	11	61.1%	3	16.7%	2	11.1%	1	5.6%	1	5.6%
治療なし	H26	54	80.6%	31	57.4%	9	16.7%	9	16.7%	2	3.7%	3	5.6%
	H27	50	75.8%	25	50.0%	12	24.0%	10	20.0%	2	4.0%	1	2.0%
	H28	49	79.0%	18	36.7%	17	34.7%	6	12.2%	5	10.2%	3	6.1%
	H29	58	84.1%	36	62.1%	10	17.2%	7	12.1%	3	5.2%	2	3.4%
	H30	48	80.0%	27	56.3%	8	16.7%	9	18.8%	3	6.3%	1	2.1%
	R1	67	78.8%	37	55.2%	13	19.4%	11	16.4%	5	7.5%	1	1.5%

この図は、特定健診（40～74歳）の結果と、糖尿病治療中の患者の状況をまとめたものです。図の左側には、特定健診の結果が示されており、右側には、糖尿病治療中の患者の状況が示されています。

図の上部には、特定健診の結果が示されています。特定健診の対象者は137人で、そのうち受診者は85人（62.0%）です。受診者のうち、糖尿病型は16人（18.8%）です。また、特定健診の対象者の中で、特定健診を受診していない人は52人（37.9%）です。

図の右側には、糖尿病治療中の患者の状況が示されています。糖尿病治療中の患者は16人（6.2%）です。そのうち、インスリン療法を受けている患者は2人（12.5%）です。また、糖尿病性腎症を患っている患者は1人（6.3%）です。人工透析を受けている患者は0人（0.0%）です。

図の下部には、特定健診の結果と、糖尿病治療中の患者の状況を比較するための表が示されています。この表は、特定健診の結果と、糖尿病治療中の患者の状況を比較するためのものです。

項目	特定健診対象者	特定健診受診者	糖尿病型	糖尿病治療中	インスリン療法	糖尿病性腎症	人工透析
人数	137人	85人 (62.0%)	16人 (18.8%)	16人 (6.2%)	2人 (12.5%)	1人 (6.3%)	0人 (0.0%)
割合							

※ 以下のいずれかに該当する場合は、特定健診の対象者から除外されます。

- ・65歳以上
- ・65歳未満で、糖尿病性腎症を患っている
- ・糖尿病治療中（医師の診断による）

※ 以下のいずれかに該当する場合は、糖尿病治療中の患者から除外されます。

- ・糖尿病性腎症を患っている
- ・人工透析を受けている

※ 以下のいずれかに該当する場合は、特定健診の結果と、糖尿病治療中の患者の状況を比較するための表から除外されます。

- ・糖尿病性腎症を患っている
- ・人工透析を受けている

第4章 特定健診及び特定保健指導の中間評価と課題

1 目標値に対する進捗状況

【特定健診受診における進捗状況】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
40－74歳の被保険者数	115	129	127	133
特定健診の受診者数	57	66	72	79
特定健診の受診率	49.6%	51.2%	56.7%	59.4%

(法定報告値)

【特定保健指導における進捗状況】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
特定保健指導該当者数	6	9	9	9
特定保健指導の実施者数	4	6	6	8
特定保健指導の実施率	66.7%	66.7%	66.7%	88.9%

(法定報告値)

特定健診受診率は、毎年少しずつ増加している。目標の60%まで、あと少しの状況です。40歳前から健診受診を促し、継続的に健診を受診できるよう努めます。

特定保健指導は、平成28年度と比較すると実施率が上昇しています。メタボ該当者の割合も特に男性は増加しているため、メタボ解決に向けて保健指導を実施していきます。

第5章 中間評価、新たな課題を踏まえた目標値の見直し

医療費適正化や健康づくりに取り組む自治体等へのインセンティブ制度として、市町村国保では保険者努力支援制度が創設されました。第2期データヘルス計画策定時から保険者努力支援制度の評価指標が変化しているため、今後は保険者努力支援制度評価指標を勘案した目標を追加して保健事業の方向性を考えていく必要があります。

地域包括ケアの取組に関する新たな情勢として令和2年度より開始された高齢者の保健事業と介護予防の一体事業があげられます。第2期データヘルス計画は健康増進法に基づく「基本的な方針」を踏まえるとともに、都道府県健康増進計画や都道府県医療費適正化計画、都道府県医療計画、介護保険事業計画との調和を保ち、推進していくためにも、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に積極的に取り組む必要があります。本村においては、令和3年度より沖縄県後期広域連合から委託を受けてこれ医者の保健事業と介護予防の一体的実施に取り組んでいます。今後はKDBシステムを活用し国保のみならず後期高齢者の医療費・介護費等の分析を行っていきます。医療費等分析を踏まえ糖尿病管理台帳等を活用し、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを組み合わせる切れ目のない保健事業の展開を図ります。

1. 第2期データヘルス計画中間評価後の課題

- ・ 中長期目標疾患の医療費に占める割合の減少
- ・ 短期目標疾患の医療機関受診率向上（重症化予防）
- ・ 特定健診受診率の向上 目標65%（当初60%）
- ・ 特定保健指導率の向上 目標80%（当初60%）
- ・ 特定健診未受診者対策の強化
- ・ 糖尿病重症化予防事業の実施

[illegible]

2. がん検診の進捗状況

がん検診受診率を平成28年度と令和元年度で比較してみると、胃がん検診以外は受診率が上がっている。特に、乳がん検診の受診率アップは大きく、乳がん検診、子宮がん検診は、個別通知を実施することで受診率が向上した。乳がん・子宮がん検診以外は、集団健診において、特定健診とがん検診を同時に行い、がん検診の受診率向上を図っている状況ですが、受診率は低い状況で推移しており、更なる未受診者対策が必要です。

がん検診受診率の推移(H28-R1)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		対象者数	受診率	対象者数	受診率	対象者数	受診率	対象者数	受診率
胃がん	男	171	11.7	121	9.9	124	7.3	122	9.8
	女	115	7.8	76	5.3	77	7.8	75	5.3
大腸がん	男	171	10.5	168	8.3	167	7.8	171	10.5
	女	115	9.6	112	7.1	113	11.5	115	12.2
肺がん	男	171	11.1	168	13.7	167	14.4	171	15.8
	女	115	13.9	112	16.1	113	15	115	15.7
子宮がん	女	190	20.5	187	20.9	194	24.2	193	29.5
乳がん	女	115	7.8	112	25	113	24.8	115	29.6

3. 歯科検診（歯周疾患検診）の実施

生活習慣病施策、介護予防施策において歯科検診は重要です。本村は、令和元年度より村内歯科診療所へ委託し歯周疾患検診を実施しています。個別検診を実施しているが、受診者数が少ない状況であり、今後受診率向上のための対策が必要です。

第2期データヘルス計画中間評価 ～中長期目標・短期目標における評価の全体像～

中長期目標	アウトカム				アウトプット			プロセス		ストラクチャー																																																																																				
	【総医療費に占める中長期目標疾患の医療費割合】				【特定健診・特定保健指導率】			①ハイリスク対象者の明確化 (対象者の抽出) *各学会のガイドライン等を基本的な考えとし、ハイリスク対象者 明確化の基準を設ける		①関係機関、関係職種と 事業の状況確認、情報 共有を行う。																																																																																				
	<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th rowspan="2">総医療費</th><th rowspan="2">一人当たり 医療費</th><th colspan="4">中長期目標疾患</th></tr><tr><th colspan="2">腎</th><th>脳</th><th>心</th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th>慢性腎不全 (透析有)</th><th>慢性腎不全 (透析無)</th><th>脳梗塞 脳出血</th><th>狭心症 心筋梗塞</th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><td>H28年度 (計画策定時)</td><td rowspan="2">渡嘉敷村</td><td>68,348,160</td><td>24,246</td><td>0.00%</td><td>0.00%</td><td>4.71%</td><td>1.09%</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R1年度 (中間評価年)</td><td>63,331,110</td><td>20,683</td><td>0.00%</td><td>0.14%</td><td>5.46%</td><td>1.53%</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">R1年度</td><td>同規模平均</td><td>69,729,842,420</td><td>29,091</td><td>3.55%</td><td>0.41%</td><td>2.20%</td><td>1.61%</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>県</td><td>121,720,589,390</td><td>24,808</td><td>6.43%</td><td>0.31%</td><td>2.33%</td><td>1.73%</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>国</td><td>9,546,054,012,590</td><td>26,225</td><td>4.45%</td><td>0.31%</td><td>2.11%</td><td>1.69%</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						総医療費	一人当たり 医療費	中長期目標疾患				腎		脳	心					慢性腎不全 (透析有)	慢性腎不全 (透析無)	脳梗塞 脳出血	狭心症 心筋梗塞				H28年度 (計画策定時)	渡嘉敷村	68,348,160	24,246	0.00%	0.00%	4.71%	1.09%				R1年度 (中間評価年)	63,331,110	20,683	0.00%	0.14%	5.46%	1.53%				R1年度	同規模平均	69,729,842,420	29,091	3.55%	0.41%	2.20%	1.61%				県	121,720,589,390	24,808	6.43%	0.31%	2.33%	1.73%				国	9,546,054,012,590	26,225	4.45%	0.31%	2.11%	1.69%				<table><tr><th></th><th>H28</th><th>R1</th></tr><tr><td>特定健診受診</td><td>49.6%</td><td>59.4%</td></tr><tr><td>特定保健指導率</td><td>66.7%</td><td>88.9%</td></tr></table>				H28	R1	特定健診受診	49.6%	59.4%	特定保健指導率	66.7%	88.9%	②科学的根拠に基づいた保健 指導教材の活用		②KDBシステム等分析 システムの環境整備
		総医療費	一人当たり 医療費	中長期目標疾患																																																																																										
				腎		脳	心																																																																																							
				慢性腎不全 (透析有)	慢性腎不全 (透析無)	脳梗塞 脳出血	狭心症 心筋梗塞																																																																																							
H28年度 (計画策定時)	渡嘉敷村	68,348,160	24,246	0.00%	0.00%	4.71%	1.09%																																																																																							
R1年度 (中間評価年)		63,331,110	20,683	0.00%	0.14%	5.46%	1.53%																																																																																							
R1年度	同規模平均	69,729,842,420	29,091	3.55%	0.41%	2.20%	1.61%																																																																																							
	県	121,720,589,390	24,808	6.43%	0.31%	2.33%	1.73%																																																																																							
	国	9,546,054,012,590	26,225	4.45%	0.31%	2.11%	1.69%																																																																																							
	H28	R1																																																																																												
特定健診受診	49.6%	59.4%																																																																																												
特定保健指導率	66.7%	88.9%																																																																																												
	【重症化予防事業への取組】 ①糖尿病性腎症重症化予防の取組 (沖縄県糖尿病性腎症重症化予防 プログラムに準じた実施) ②要医療者に対する受診勧奨 脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿 病性腎症に共通した血糖・血圧・脂質 異常の要医療者への受診勧奨			③対象者に応じた保健指導の 実施																																																																																										
短期目標	<table><tr><th colspan="2" rowspan="3"></th><th>計画作成年</th><th>中間評価年</th></tr><tr><th>2016</th><th>2019</th></tr><tr><th>H28</th><th>R1</th></tr><tr><td colspan="2">メタボリックシンドローム・予備群の割合を25%減少</td><td>37.1%</td><td>40.5</td></tr><tr><td colspan="2">健診受診者の高血圧の割合減少(160/100以上)</td><td>3.2%</td><td>2.3</td></tr><tr><td colspan="2">健診受診者の脂質異常者の割合減少(LDL161以上)</td><td>12.9%</td><td>9.2</td></tr><tr><td colspan="2">健診受診者の糖尿病有病者の割合減少(HbA1c6.5以上)</td><td>8.1%</td><td>10.3</td></tr></table>						計画作成年	中間評価年	2016	2019	H28	R1	メタボリックシンドローム・予備群の割合を25%減少		37.1%	40.5	健診受診者の高血圧の割合減少(160/100以上)		3.2%	2.3	健診受診者の脂質異常者の割合減少(LDL161以上)		12.9%	9.2	健診受診者の糖尿病有病者の割合減少(HbA1c6.5以上)		8.1%	10.3	④国保連合会設置の保健事業 支援・評価委員会の助言に基づき PDCAで事業を実施																																																																	
			計画作成年	中間評価年																																																																																										
2016			2019																																																																																											
H28			R1																																																																																											
メタボリックシンドローム・予備群の割合を25%減少		37.1%	40.5																																																																																											
健診受診者の高血圧の割合減少(160/100以上)		3.2%	2.3																																																																																											
健診受診者の脂質異常者の割合減少(LDL161以上)		12.9%	9.2																																																																																											
健診受診者の糖尿病有病者の割合減少(HbA1c6.5以上)		8.1%	10.3																																																																																											
今後の課題	中長期目標のアウトカム指標として国保総医療費における中長期目標疾患(脳血管疾患・虚血性心疾患)の医療費の割合を減らしていくこととした。 令和元年度より慢性腎不全の方がおり、今後重症化しないようにする必要がある。 また、脳血管疾患・虚血性心疾患における医療費が上昇しており、それらの共通因子である短期目標疾患(血糖・血圧・脂質異常者)の割合を減少させていく 必要がある。メタボリックシンドローム該当者・予備群も増加しており、肥満に対する保健指導も重要であり、必要な保健指導を実施していくためにも特定健診受診率 の向上、特定保健指導の向上を目指していく。																																																																																													